



東京大学都市デザイン研究室・地域デザイン研究室

大槌プロジェクト

2015年度活動報告



岩手県大槌町



人口 15,277人 (2010)

11,732人 (2015)



津波常襲地域

1896 明治三陸地震津波

1933 昭和三陸地震津波

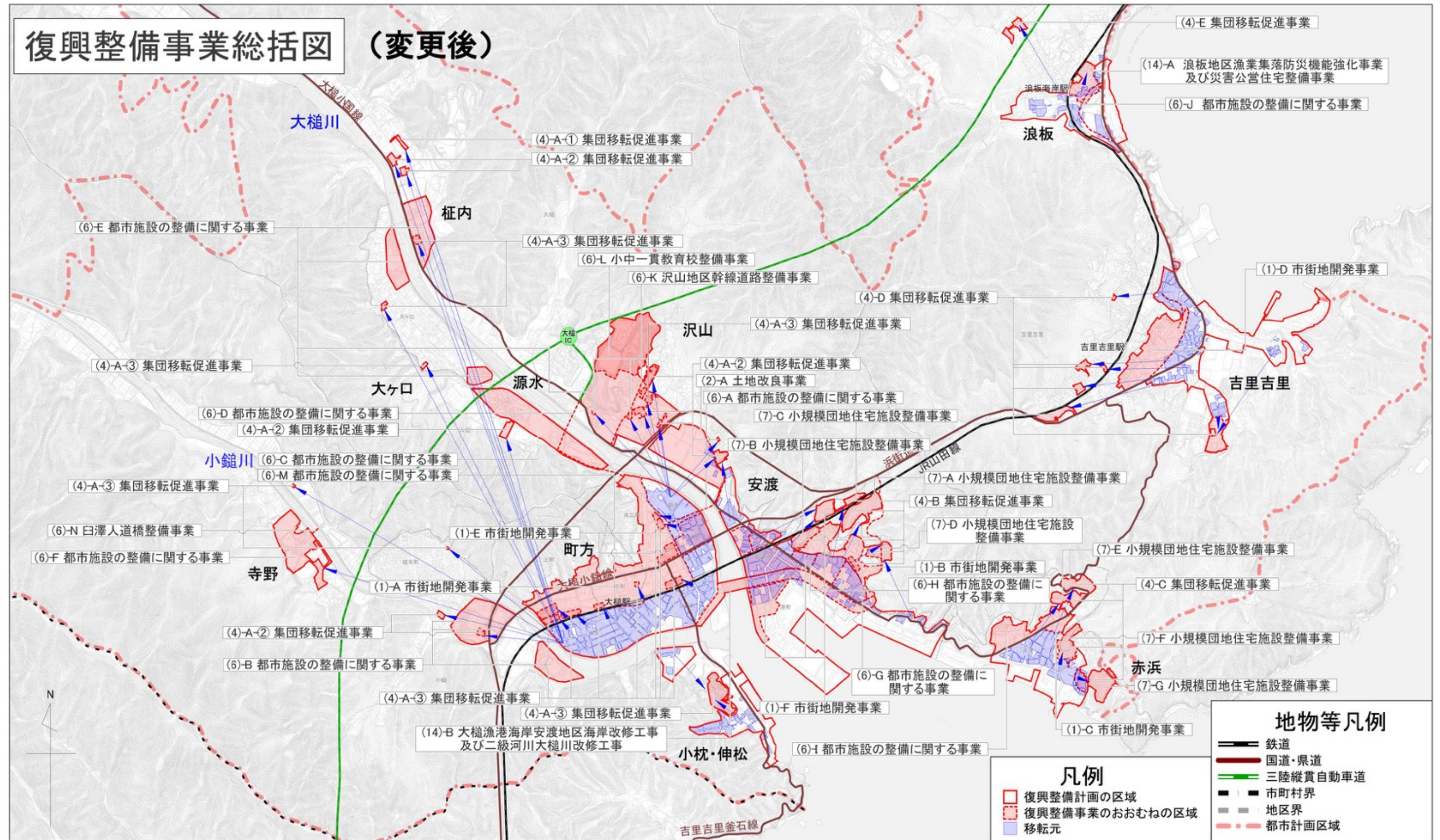
1960 チリ地震津波

2011 東日本大震災

東日本大震災の津波被災地

- ・市街地の約50%が浸水
- ・町民の約1割が犠牲に
- ・庁舎の被害

復興整備事業総括図 (変更後)



大槌町復興整備計画 (第12回変更) より

500 0 500 1000 1500m 1:30000



2014年4月

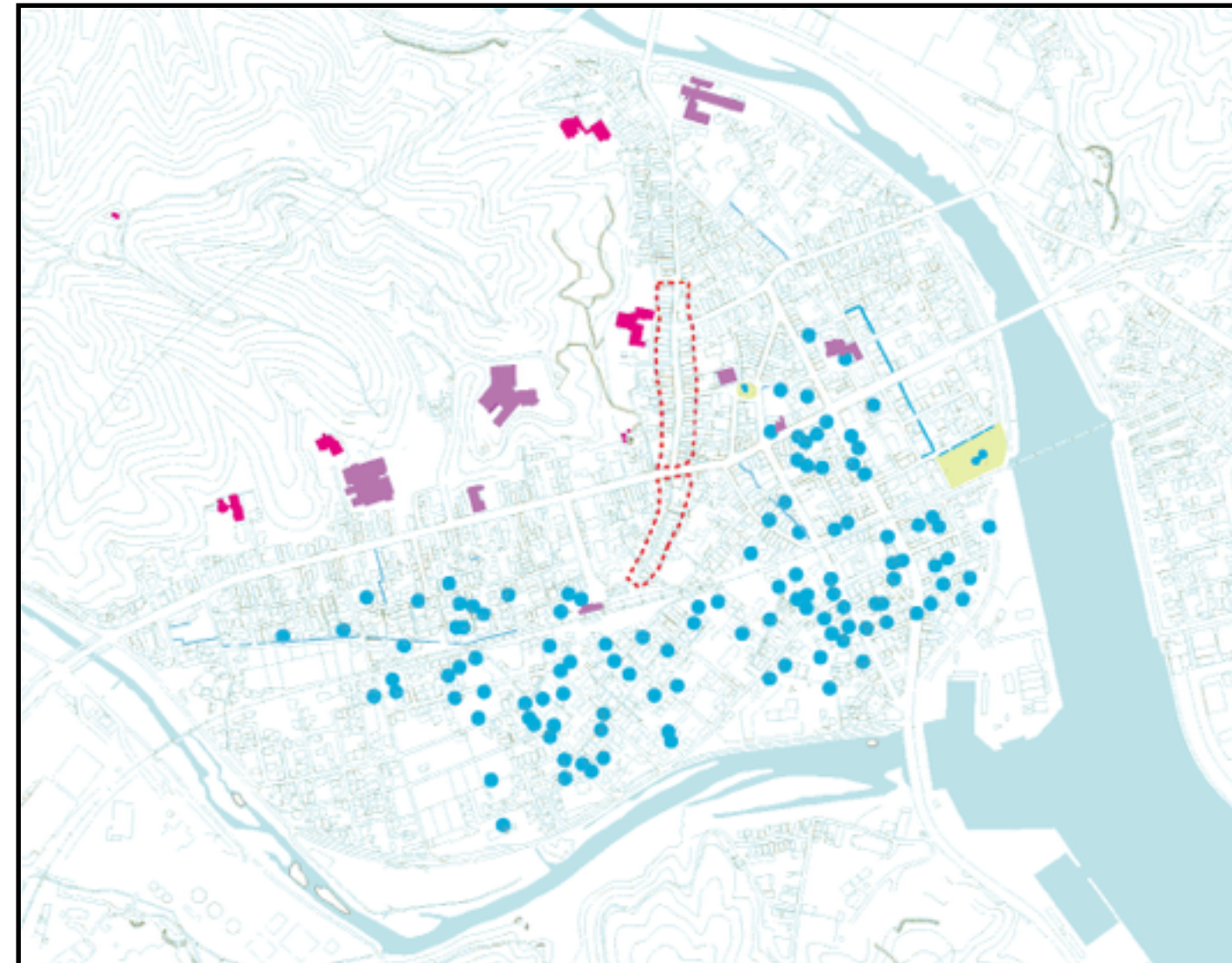
大槌復興CMRウェブサイト (<http://otsuchi-cmr.jp/>) より



2015年9月

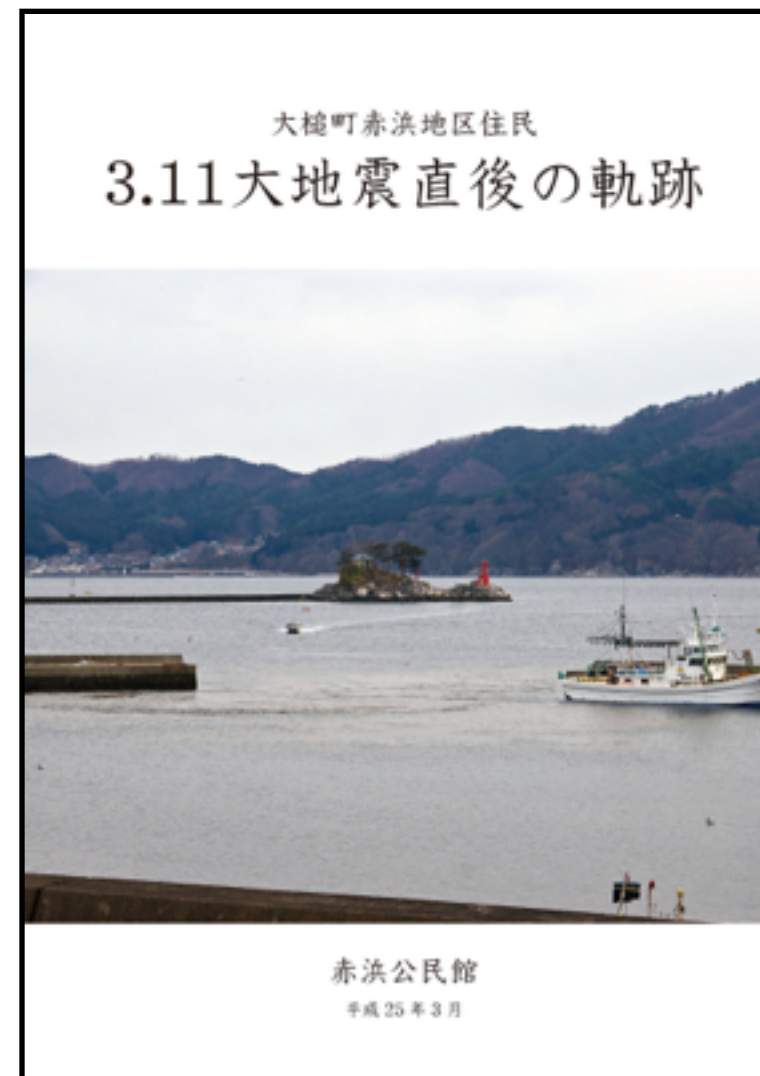
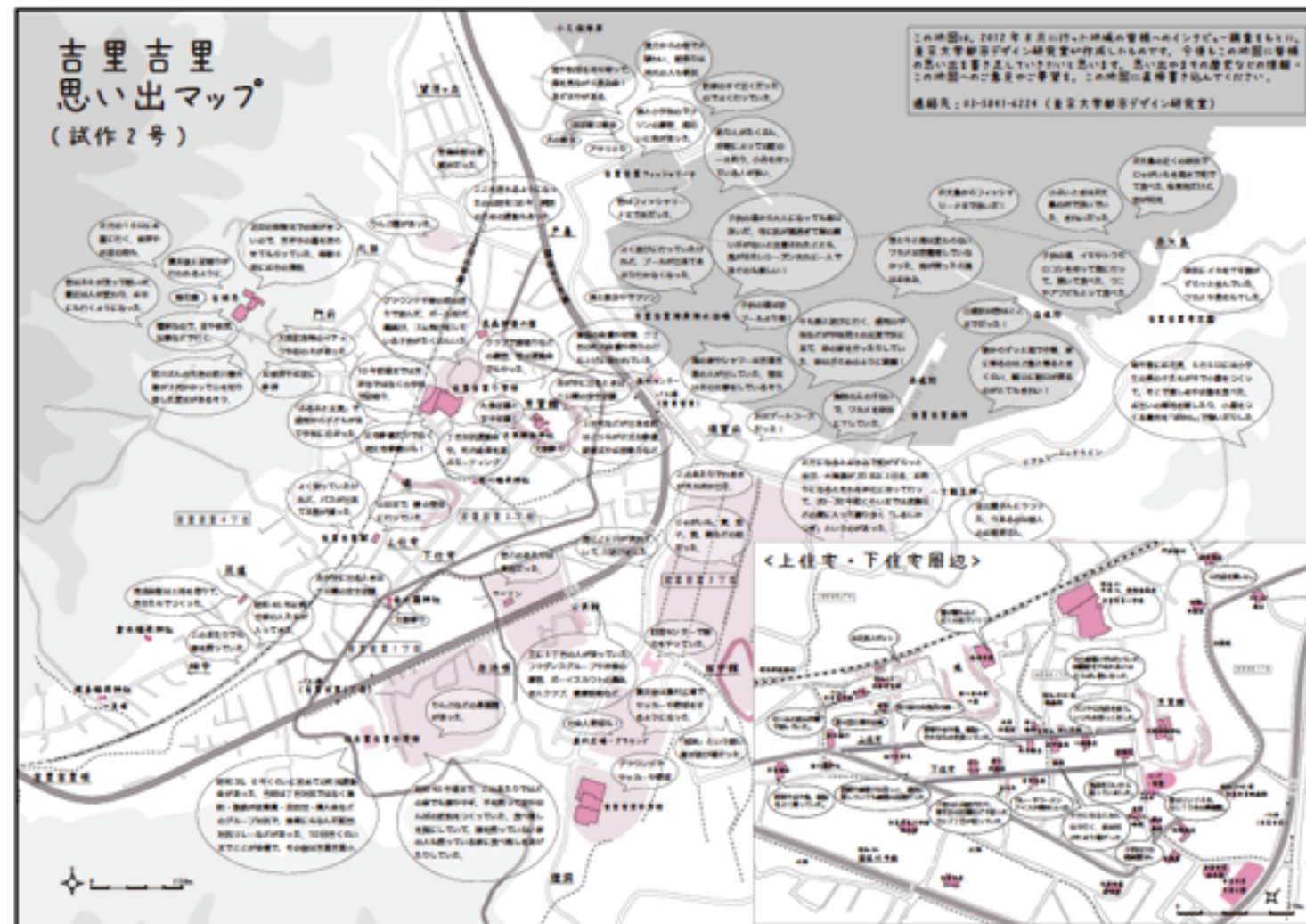
大槌復興CMRウェブサイト (<http://otsuchi-cmr.jp/>) より

2011



- 赤浜地区被災実態調査
- 赤浜地区の地形模型作成
- 歴史文化資源調査
- 記憶再生プロジェクト

2012

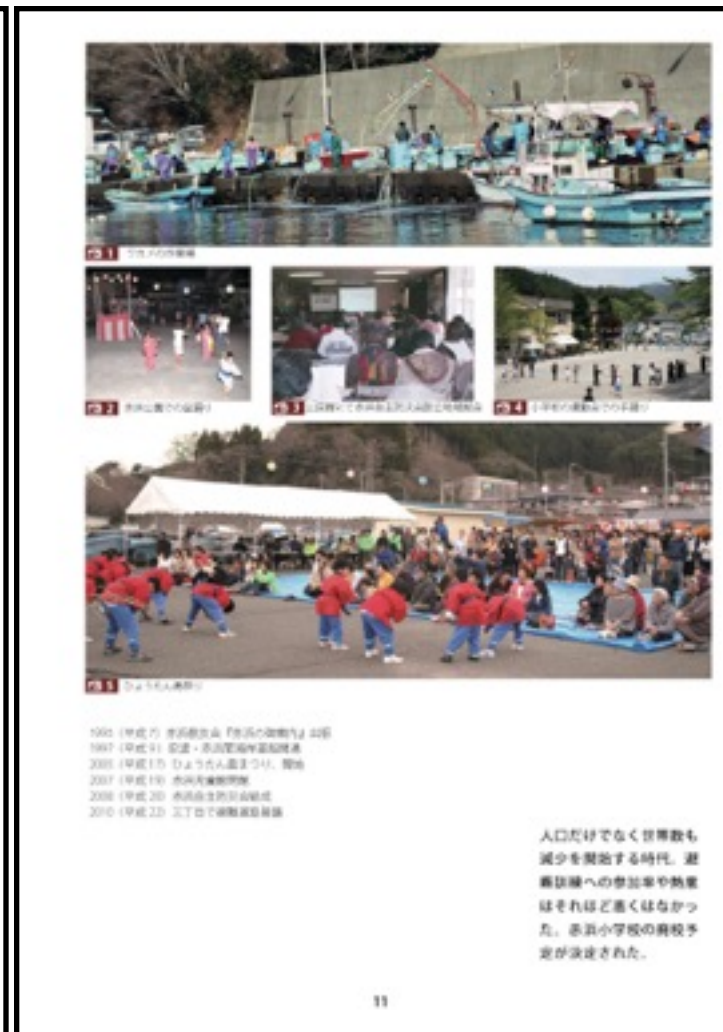


- 祭礼調査
- 海上地形調査・漁師聞き取り
- 「吉里吉里思い出サロン」開催
- 「吉里吉里思い出マップ」作成
- 赤浜地区避難行動調査
- 冊子「3.11大地震直後の軌跡」

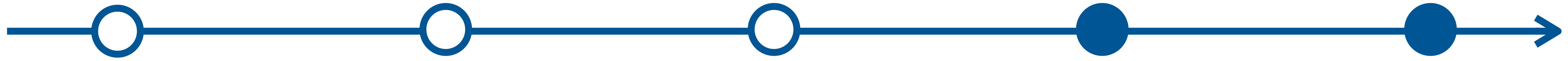
2013



- 赤浜地区水場調査
- 赤浜地区commons空間調査
- 建築学会コンペ「平衡の道筋」
- 奥尻島・紀伊半島調査
- 「吉里吉里ギャラリー」開催
- 冊子「吉里吉里の住まい」



- ・ 赤浜地区 commons 空間調査
- ・ 赤浜今昔写真調査
- ・ 冊子「赤浜今昔の読み解き」
- ・ 建築学会査読付き論文
- ・ 赤浜盆踊り会パネル展示
- ・ 三陸沿岸調査・紀伊半島調査



生きた証プロジェクト

大槌町は、2014年度から犠牲者の人となりを家族や友人に伺い、後世に伝える「生きた証プロジェクト」を始めた。

大槌PJとして赤浜集落を担当し、地元の方の協力を得ながらお話を伺った。2年間で40人あまりの犠牲者についての聞き取りを終えた。



前川 宣子（まえがわ よしこ）五十九歳
昭和26年4月7日平成23年3月11日
大槌町赤浜
ご夫婦で旅行中に

人生のあゆみ
大槌出身の6人兄弟の末っ子でした。4歳下の前川史夫さんと結婚し、赤浜で暮らして、ました。

震災時の状況
宣子さんは、結婚と同時に、水門が開まるという日も二日前に同じことがあったわかって、ましたので、吉里吉里を逃げて赤浜に入つたようです。赤浜の家の中にも入つたよう、宣子さんの娘さんが携帯のSDカードを取り出し、中身を見たところ、娘さんの部屋から海を眺めた写真が残っていました。

宣子さんの家は目の前が海でしたから逃げなければいけなかったはずですが、何かをしていたらしく、波がきつてから逃げたのではないかと加藤さんは思っています。

【遺族・知人のお話】
兄弟のなかで、4歳年上の加藤さんにとっては友達のような妹でした。小さい頃から加藤さんの方が気が強いので、宣子さんにはお話を聞かされてはいたそうです。

お葬りのときには兄弟が実家に集まっています。震災前には、兄弟みんな、大槌町のみならず大槌のお神楽が海に入ると言われて見ました。夫の史夫さんと宣子さんと、加藤さんの嫁さんみなで、見ました。加藤さんは本来はお祭り好きで、お祭りにも出たことがありませんでした。しかし、お祭りは見られなくなったと言います。家のすぐ下の海を通るだけでなく、それが思い出されて海を眺めると悲しくなるそうです。

手先が器用で、家の中にも手作りの人形がたくさんあって、いつかお祭りに行ってみたいと言っていました。

加藤周子さん（母）平成27年5月28日

宣子さんが写真を見ながら作った人形

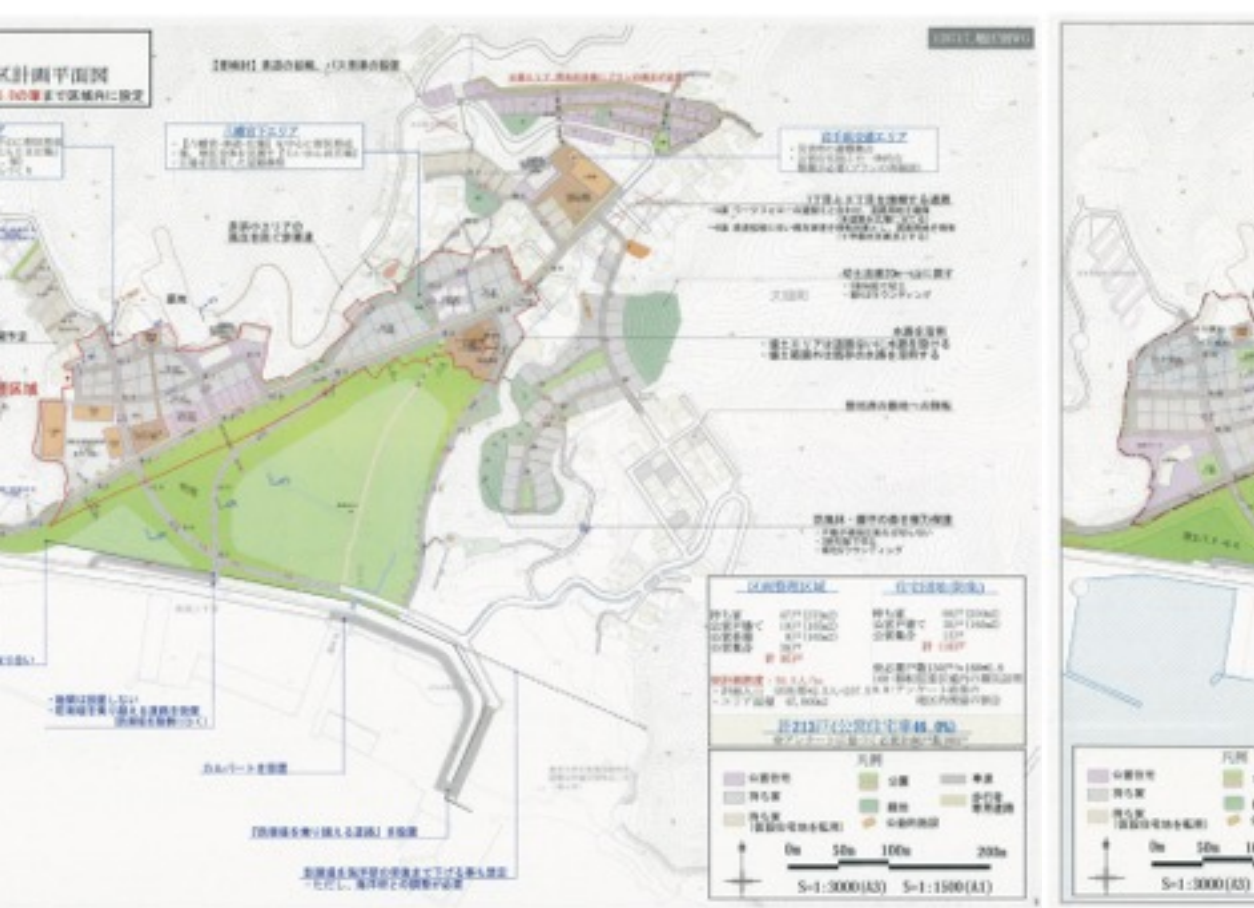
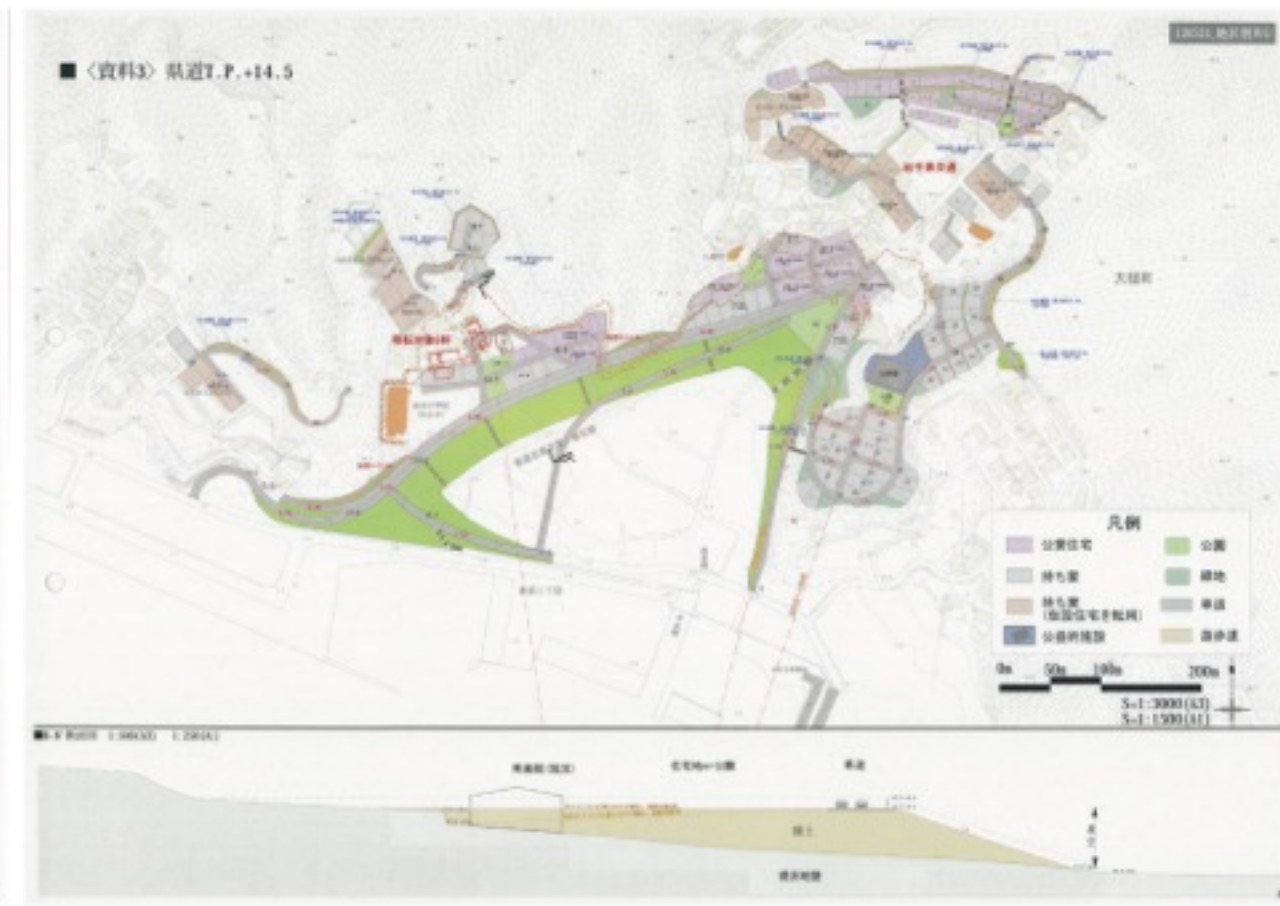
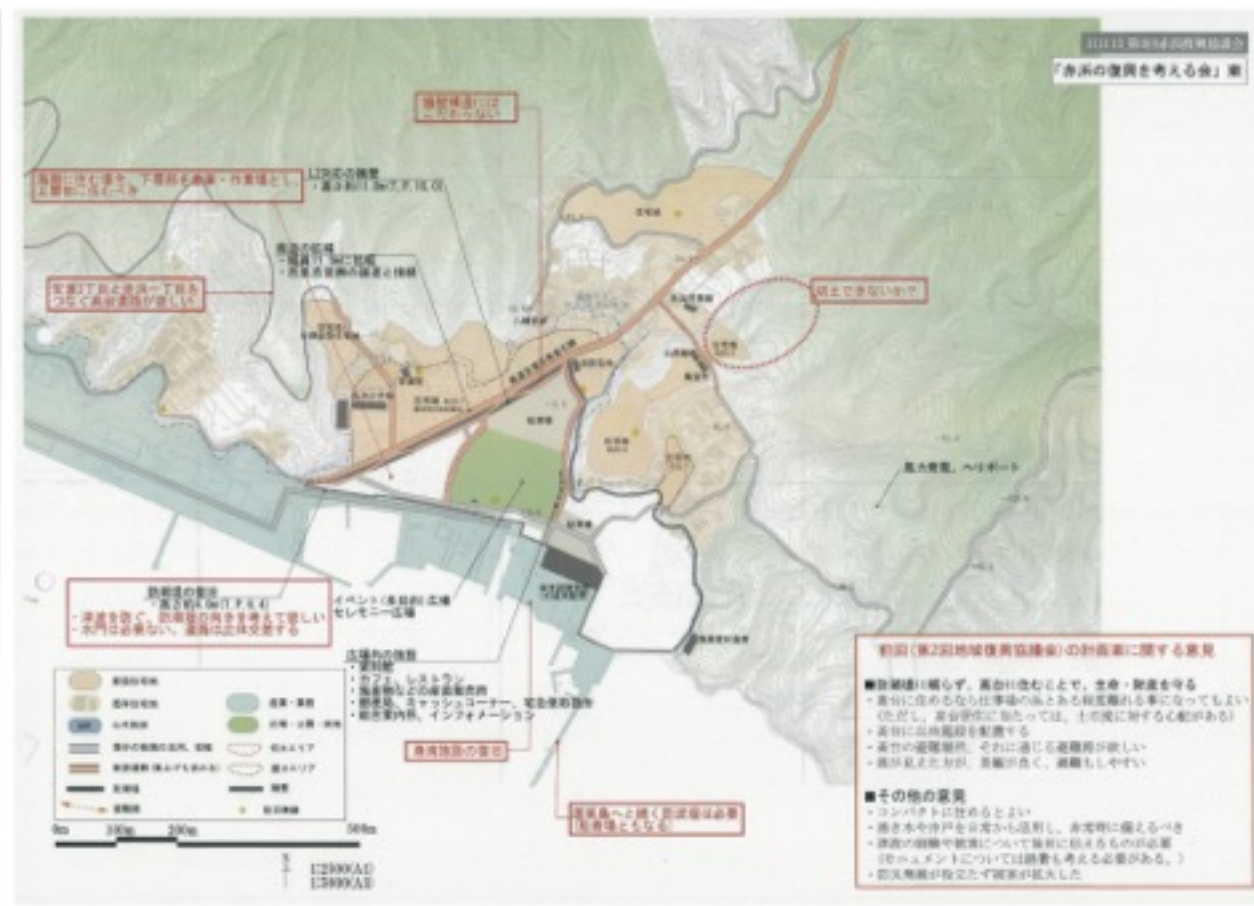
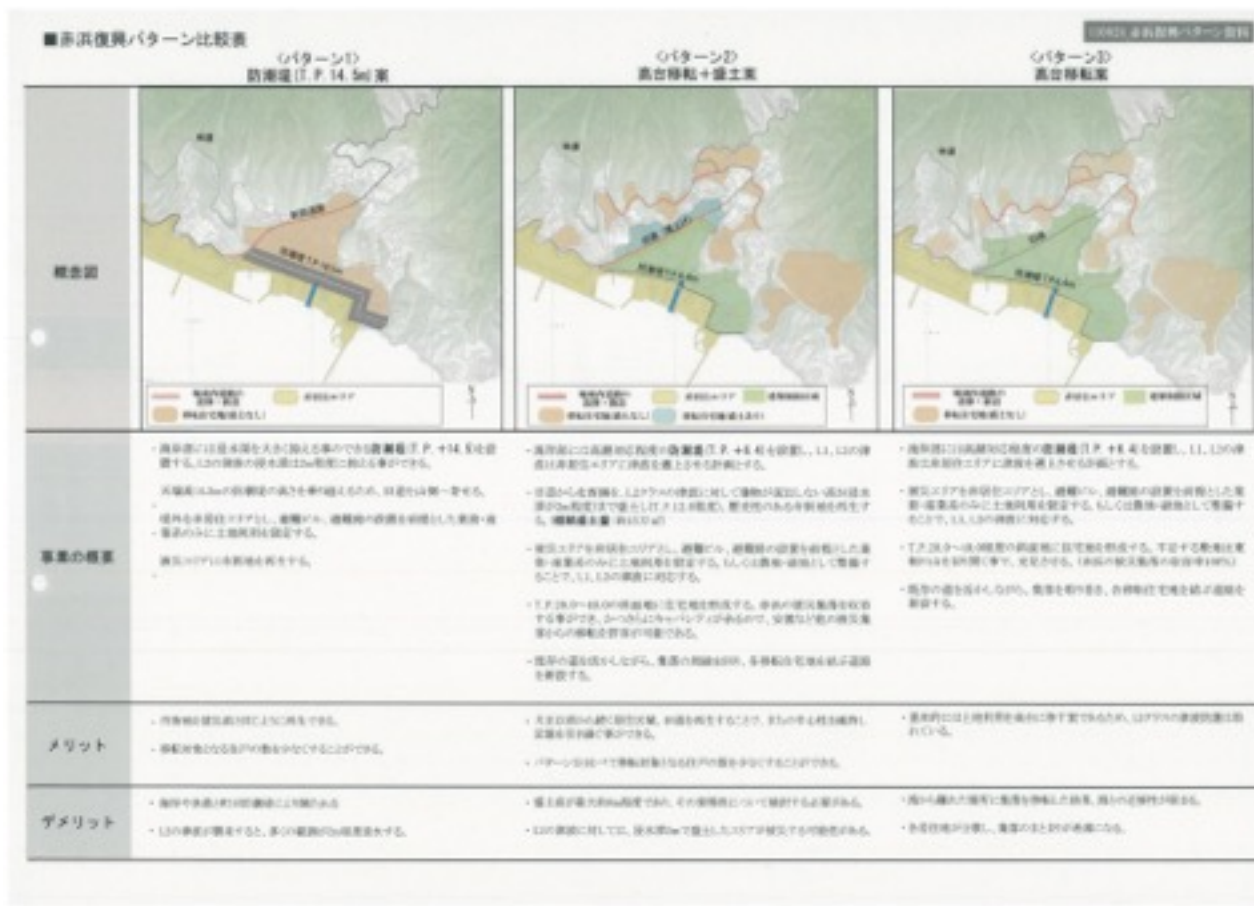
ぽつぽつとかがやいて、お祭りに行っていました。お祭りに行くと、お祭りに行くという話を聞かされた。お祭りに行くという話を聞かされた。お祭りに行くという話を聞かされた。

2015

赤浜の復興の検証



窪田先生、黒瀬先生は大槌町から委託されて赤浜地区の復興計画のコーディネーターを務め、赤浜地区の復興計画に関わってきた。プロジェクトとしてその過程を振り返り、記録する試みを10月から始めた。



赤浜の復興の検証

5年目のプランナーの立場から (仮題)

1 被災までの赤浜集落

2 復興計画の意図と検討経緯

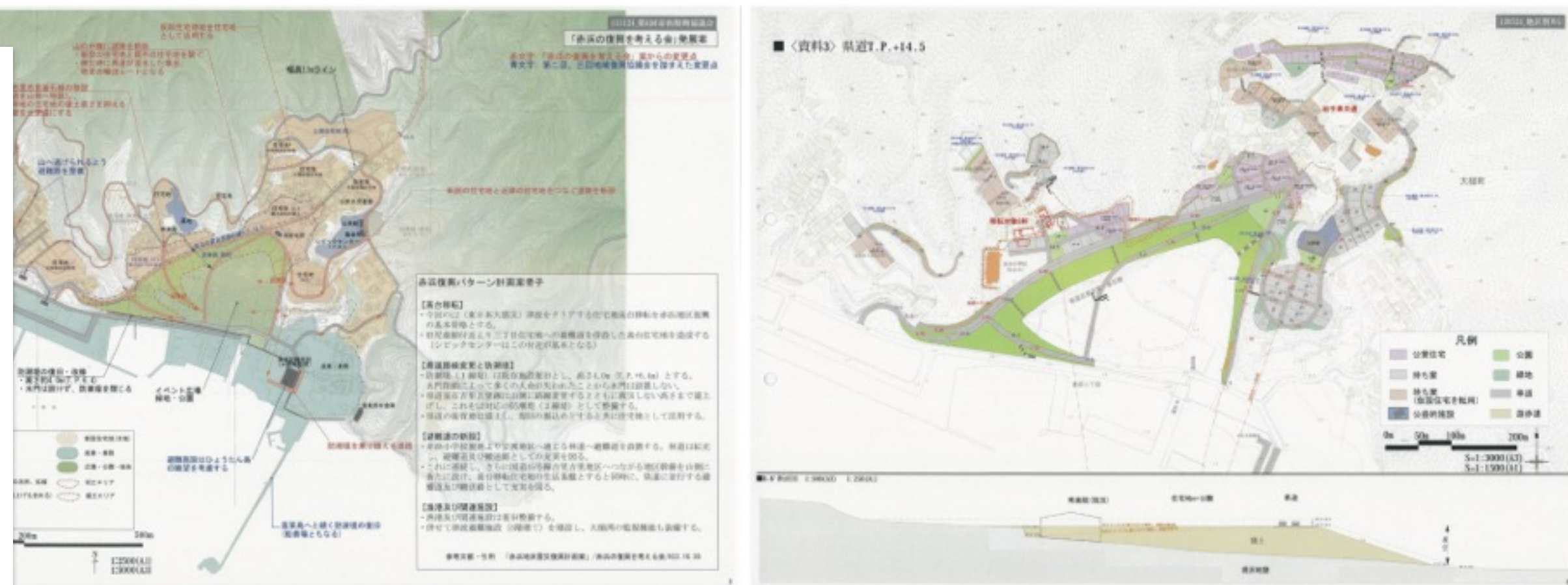
防潮堤 / 住宅地 / 避難 / 公共空間 / 公益施設 / 低地部

3 赤浜復興計画の検証

遅さ / 不公平感 / 継承 / 意思決定

4 復興計画の枠組みでは対応できなかった事柄

遅さ / 生業 / 世代 / 共有空間 / 人口減少 / プランナーに必要な技能とは？



参加メンバー：

窪田、黒瀬、羽野、益邑、瀬川 +

田中暁子 (後藤・安田記念東京都市研究所)

萩原拓也 (日本設計)

上條慎司 (小野寺康都市設計事務所)



東京大学都市デザイン研究室・地域デザイン研究室

大槌プロジェクト

2015年度活動報告

参加メンバー

窪田亜矢 教授

黒瀬武史 助教

田中暁子 客員研究員

修士課程 瀬川明日奈 羽野明帆 益邑明伸

